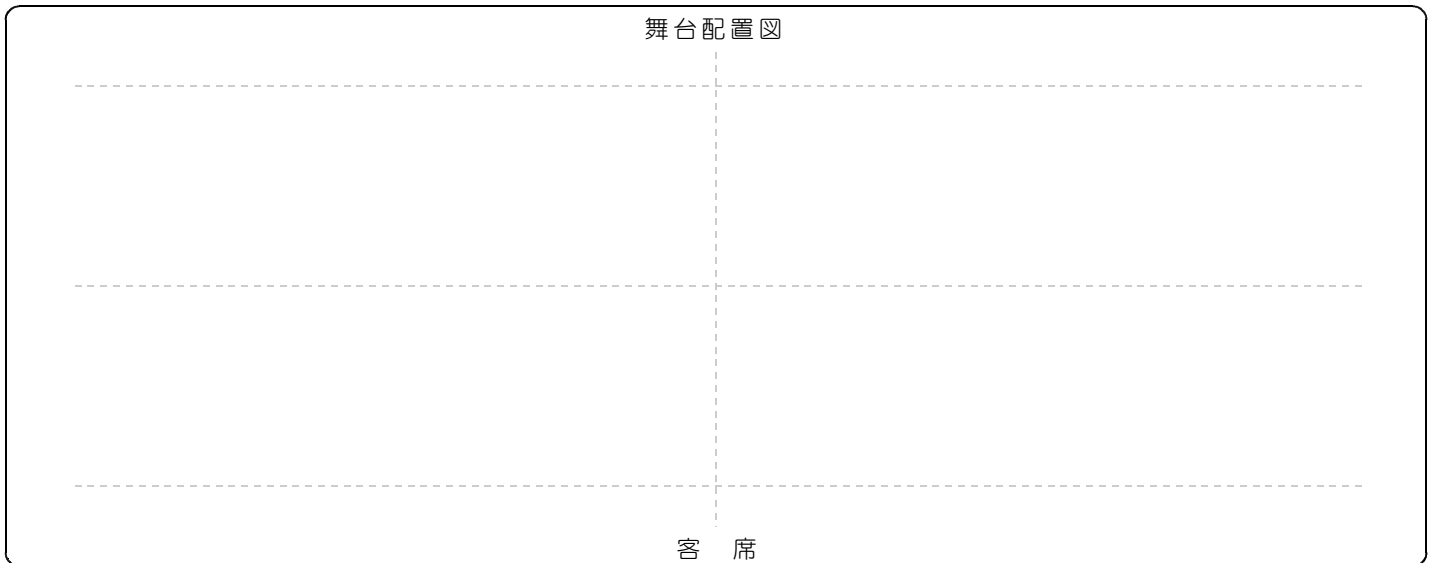


No.	石 筍	演奏者数	演奏時間
-----	-----	------	------



表示記号一覧	一 箏	= 17絃	+ 三絃	0 尺八	≠ 他楽器	* マイク	□ エコー	□ 毛氈	W 屏風
立奏	立奏台	大 台	小 台	椅子	大 台	小 台	譜面台	台	ハイター 枚
座奏	琴台	台	見台	台	山台	録音 有：無	録画 有：無	他	
始	緞帳：暗転	板付	毛氈 緋：紺	音響					
終	緞帳：暗転	板付	屏風 金：銀	照明					

調絃表	ピッチ A=44				編成：1箏				2箏				17絃				
Part	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	斗	為	巾				
1 箏				D			A#	C	D								
	G	A	B	C	E	G	A	B	C	E	G	A	B				
	E					F					F#						
	平調子より六斗一音↑								一は六の乙								
2 箏											D			1箏五 2箏二 17絃十	E		
	D		G#		C	D				C	C#						
	C	E	G	A	B	C	E	G	A	B	C	E	F#				
	平調子より四九一音↑				三八半音↑				一は六の乙								
17絃	C	D	E	F#	G	A	B	C	D	E	F#	G	A	B	C	D	E
				F													
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	斗	為	巾	4	5	6	7

編成欄には面数を記入 開始調絃は太字 転調は上下の欄 ハーモニックスは右肩に○

作曲年 1966年 委嘱者 一 構成 箏独奏・箏 I・II・十七弦独奏・十七弦 時間 12分 出版楽譜 前川出版

解説 十七弦に始まる導入部が、箏のかさなりを得て主題を構成し自由な発展を見せていく。“石筍”と表題がついているが、これは石筍を表現する曲という意味ではなく、石筍の持つ膨大な歴史と自然から与えられた美への憧れからつけたものである。石筍＝鐘乳洞の中で石灰分を含んだ水がしたたり落ち、何万年もの間にたけのこの様につもりかたまつたもので、自然が生んだ美の傑作である。1966年作曲。[作曲者]

収録媒体 箏 沢井忠夫作品集1 (VZCG-578) 現代箏曲名曲選5 沢井忠夫 (VXCD-2005)